令　和　6　年　度
事　業　報　告

自　令和 6年 4月 1日
至　令和 7年 3月31日

社会福祉法人
結城市社会福祉協議会

令和６年度　社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告

Ⅰ　法人運営部門

１　会務の運営等　【決算額：８８８，８２４円】

理事会及び評議員会等を開催し、定款及び規程等の改廃、事業計画及び予算並びに事業報告及び決算などの審議により、適正な業務執行及び組織運営に努めました。

（１）理事会の開催

○第１回理事会　令和６年６月４日（火）午前 10 時 00 分から午前 11 時 50 分
結城市役所　多目的スペース（１階）

（報告第１号）会長職務の執行状況報告について
（議案第１号）令和５年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告について
（議案第２号）令和５年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支決算について
（議案第３号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会会長専決規程の一部を改正する規程について
（議案第４号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会理事候補者の推薦（１名）について
（議案第５号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦（１名）について
（議案第６号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会令和６年度第１回評議員選任・解任委員会の開催日程及び提出議案の決定について
（議案第７号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会令和６年度第１回評議員会の日程及び提出議案の決定について
（そ　の　他）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員研修について

○第２回理事会　令和７年２月 19 日（水）午前９時 01 分から午前 11 時 07 分
結城市役所　大会議室２・３（４階）

（報告第２号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算（第１号）の専決処分について
（報告第３号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算（第２号）の専決処分について
（報告第４号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会会長職務の執行状況報告について
（議案第８号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第３号)について
（議案第９号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款について
（議案第１０号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会の会長報酬及び役員等の費用弁償等に関する規程の一部を改正する規程について
（議案第１１号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程について
（議案第１２号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会育児・介護休業等規程の全部を改正する規程について
（議案第１３号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会個人情報保護規程の全部を改正する規程について

（議案第１４号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会におけるコンピュータ情報システムの運用管理に関する規程の一部を改正する規程について
（議案第１５号）令和７年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業計画（案）について
（議案第１６号）令和７年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支予算（案）について
（議案第１７号）令和７年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員賠償責任保険加入及び契約内容の決定について
（議案第１８号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会令和６年度第２回評議員会の開催日程及び提出議案の決定について
（そ　の　他）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員研修について

（２）評議員会の開催

○第１回評議員会　令和６年６月 24 日（月）午前 10 時 03 分から午前 11 時 10 分
結城市役所　多目的スペース（１階）
（議案第１号）令和５年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告について
（議案第２号）令和５年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支決算について
（議案第３号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会理事の選任（１名）について
（そ　の　他）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員研修について

○第２回評議員会　令和７年３月 21 日（金）午前９時 30 分から午前 11 時 02 分
結城市役所　多目的スペース（１階）
（報告第２号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算（第１号）の専決処分について
（報告第３号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算（第２号）の専決処分について
（報告第４号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程について
（報告第５号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会育児・介護休業等規程の全部を改正する規程について
（報告第６号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会個人情報保護規程の全部を改正する規程について
（報告第７号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会におけるコンピュータ情報システムの運用管理に関する規程の一部を改正する規程について
（報告第８号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員賠償責任保険の加入及び契約内容決定について
（議案第４号）令和６年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算（第３号）について
（議案第５号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款について
（議案第６号）社会福祉法人結城市社会福祉協議会の会長報酬及び役員等の費用弁償等に関する規程の一部を改正する規程について
（議案第７号）令和７年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業計画（案）について
（議案第８号）令和７年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支予算（案）について
（そ　の　他）役員（理事・監事）及び評議員の改選について

（３）監査の実施

令和6年5月 23 日（木）午前9時 20分から午前 11 時 00 分
結城市健康増進センター内・老人個別指導室

（４）第１回評議員選任・解任委員会

令和６年６月７日（金）午前９時55分から午前10時02分

結城市健康増進センター内・老人個別指導室

社会福祉法人結城市社会福祉協議会評議員の選任（１名）について

（５）役員・評議員研修会

開 催 日	令和６年11月28日（木）から29日（金）
研 修 先	社会福祉法人　甲府市社会福祉協議会 山梨県甲府市相生２－17－１ 甲府市相生福祉センター
内　　容	「いきいきサロン事業」「生活支援体制整備事業」「笑顔ふれあい訪問サポート」事業開始の背景、課題等について
参加人数	18人

２　安定的な財政基盤の確立

持続的な地域福祉事業の推進に必要な財源である社協会費を確保するため、関係団体等の協力を得て会員加入の促進に努め、安定的な財政基盤の確立を図りました。

（１）社協会員補強運動の推進

民生委員・児童委員及び自治協力員に、市民を対象とした会員加入について協力をお願いするとともに、関係機関、団体及び企業等を対象に法人会員への協力依頼などに取り組み、会員加入の促進に努めました。

【社協会費協力依頼】（募集強化期間：令和6年6月～7月）

○一般会費　結城市自治協力員連合会総会で、結城地区の自治協力員に協力依頼をしました。

○特別会費　令和6年6月の日赤活動費取りまとめ会場にて、各民生委員・児童委員に資料を配布しました。（絹川・上山川・山川・江川地区自治協力員分資料を含む）

【事業実績】　（単位：円）

地区別	特別会費	一般会費	合　計
結　城	987,000円	2,238,250円	3,225,250円
絹　川	325,000円	423,650円	748,650円
上山川	308,000円	282,300円	590,300円
山　川	93,000円	390,500円	483,500円
江　川	246,000円	584,700円	830,700円
結城第一工業団地	198,500円		198,500円
市役所関係	76,000円		76,000円
合　計	2,233,500円	3,919,400円	6,152,900円

３　募金活動

社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を目的として行われる共同募金活動に取り組むことにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを推進しました。

（１）赤い羽根共同募金運動

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援するため、地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、自治協力員並びに関係機関や団体の協力を得て募金活動を

展開しました。

なお、詳細につきましては、別途「令和６年度事業報告書（結城市共同募金委員会）」のとおりとなります。

（２）歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、１２月１日から１か月間にわたり、結城市共同募金委員会が実施主体となり歳末たすけあい募金を展開しました。

地域住民から寄せられた善意の募金を民生委員・児童委員の協力を得て、下記の表のとおり各対象者に配分することにより、年末年始という時期に、対象者が安心して暮らせる地域づくりを図るとともに、ひとり暮らし高齢者の安否確認に努めました。

【事業実績】

○個人配分合計額　4,371,000 円

配分対象世帯	配　分　額
生活支援世帯	1,326,000 円
ひとり暮らし高齢者世帯	1,587,000 円
寝たきり高齢者世帯	150,000 円
認知症高齢者世帯	50,000 円
18 歳未満児在宅心身障害児世帯	1,000,000 円
準要保護認定者	258,000 円

○団体配分合計額　180,000 円

配分対象団体等	配 分 額
茨城ダルク年末助成	30,000 円
障害者週間クリスマス会	150,000 円

○合計　4,551,000 円

Ⅱ　福祉活動部門

1　地域を共に支え合う人づくり

地域福祉や高齢者福祉に関する啓発及び活動の充実を図る地域福祉意識・関心の向上、ボランティア活動の継続支援及びボランティアの発掘と育成を図るボランティア活動の活性化、住民主体の支え合いの地域づくりや地域全体の見守り体制の充実を図る支え合い・見守り体制の充実及び関係機関や団体との連携強化及び福祉活動への支援を図る福祉活動への支援と関係機関との連携などの各種事業に取り組み、地域の中で一人ひとりが互いにできることに取り組める「人づくり」を推進しました。

（１）地域福祉意識・関心の向上

社協で実施している様々な福祉活動や事業を広報紙（年４回全戸配布）やホームページ等を通じて広く周知することにより、地域福祉の意識・関心の向上を図りました。

①広報紙の発行　【決算額：９１０，８００円】

社協の活動及び福祉に関するお知らせ等を掲載した広報紙「社協だより笑顔」を年４回市内の全戸に配布し地域福祉に関する情報を広く提供したことにより、市民の地域福祉への意識及び関心の向上を図りました。

【配布実績】18,000 部×4 回（年）　72,000 部

②ホームページの運営　【決算額：２３０，４５０円】

社協ホームページを随時更新し、最新の社協及び福祉に関する情報やお知らせ等を随時発信することにより、幅広い世代の地域福祉への意識及び関心の向上を図りました。

【ホームページアドレス】　http://www.yuki-shakyo.or.jp/

（２）ボランティア活動の活性化

地域福祉活動を実践するボランティア団体や活動者等の支援、児童生徒の福祉体験及び小学校へのボランティアの派遣などを実施し、ボランティア活動の活性化を図りました。

①ボランティア協力校の育成及び活動支援　【決算額：９０２，９００円】

市内１５校（小学校９校，中学校３校，高等学校３校）をボランティア協力校に指定し、ボランティアの育成及び活動を支援することにより、子どものころから「互いに支え合い、助け合い、愛しむこころ」を育み、社会福祉への理解と関心を深め、たすけあいの精神の育成を図りました。

【主な活動内容】

各小・中・高等学校において、募金活動、美化運動、花いっぱい運動等を実施しました。

【活動費助成】

市内小・中・高等学校助成額　　合計　902,900 円

②福祉サマースクール　【決算額：１６，３８８円】

市内在住又は市内に通学している小中高等学校の児童生徒がニュースポーツ交流会や藍染体験などに参加し障害者との交流を図るとともに、実際にボランティアを体験する機会を創出することにより、参加者の障害者福祉やボランティア活動への理解と関心の深化とボランティアの育成を図りました。

【事業実績】

○ニュースポーツ交流会への参加

開催日時	８月７日（水）　午前10時
場　　所	かなくぼ体育館
参加人数	６人（交流会全体42人）

③ボランティア派遣　【決算額：４０，０００円】

市内小学校からの依頼により、社会福祉協議会登録のボランティア、本会職員及び講師を派遣し、講話や体験などを実施することにより要介護者や障害者への理解の深化を図りました。

【事業実績】

小学校へ福祉用具のみ貸し出し　２回（疑似体験セット、車椅子、DVD視聴）

小学校からの派遣依頼　９回（疑似体験、車椅子体験、手話体験等）

（３）支え合い・見守り体制の充実

すべての市民が安心して暮らせるよう、日頃からの身近な支え合い・助け合いを地域で展開するため生活支援体制整備事業や支部社協の支援に取り組み、見守り体制の充実や住民主体の支え合いづくりの推進を図りました。

①生活支援体制整備事業　【決算額：８，３７６，０２５円】

ボランティアや行政、地域組織や地域住民等の多様な主体が連携し、「地域における助け合い・支え合い活動を地域の視点で広げよう」という取り組みを推進するため、市内小学校区ごとに設置された９つの「第２層協議体」、全域的な「第１層協議体」の中で地域課題の抽出と解決策を協議し実践活動を進めました。また、「第１層生活支援コーディネーター」を配置し、事業の啓発や各々の協議体活動の運営支援を行いました。

これらの取り組みにより、地域での見守り体制の充実や支え合いの地域づくりの推進を図りました。

【事業実績】

○第１層協議体

【第１回】令和６年９月19日（木）午後２時00分から午後３時30分

会　　場　結城市役所　多目的スペース

参加人数　29人

概　　要　「地域防災」をテーマに、第１層協議体メンバーと市行政の関係各課にも参会いただき、地域の防災に関する課題や現状についての情報交換を図るグループワークを実施しました。

【第２回】令和７年２月12日（水）午後２時00分から午後３時30分

会　　場　結城市役所　多目的スペース

参加人数　31人

概　　要　令和６年度における各第２層協議体の協議体活動の進捗・展開を報告いただき、各第２層協議体相互に協議体活動の取り組み等の情報共有を図りました。

＊　全２回共に（一社）とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人氏に会議参加を依頼し、グループワークのコーディネートや他市町村の活動紹介、当該事業の講評など、アドバイザーとしての役割を担って頂きました。

○第２層協議体交流会　「じぶんの防災ちいきの防災」

日　　時　令和７年１月 27 日（月）午後１時 30 分から午後３時 30 分
場　　所　結城市役所　大会議室
参加人数　106 人
概　　要　結城市男女共同参画推進ｾﾐﾅｰとの合同企画で第２層協議体参加メンバー全体の交流会を実施。当日は、芸人で防災士の赤プル氏を講師として招き、日常生活における防災や災害時における地域の支え合い活動等について講話を受講しました。

○第２層協議体及び協議体活動

「第１層生活支援コーディネーター」を配置し、事業の啓発や各々の協議体活動の運営支援を行いました。

各協議体の活動内容は次の表の通りとなります。

協議体区域・名称	開催数（実践活動含む）	協議体参加人数 ※延べ数	主たる取り組み
結城小協議体（すまいる結城）	12 回	151 人	・ｻﾛﾝ活動の実践 ・地域防災活動の促進
城南小協議体（城南元気会）	17 回	374 人	・ｻﾛﾝ活動の実践 ・店舗活用型ｻﾛﾝ活動の協力支援 ・「給食ｾﾝﾀｰﾂｱｰ」の企画・実践
江川北小協議体（ほっこり笑川）	16 回	206 人	・小学校交流会活動の実践 ・ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ活動の促進 ・地域ｲﾍﾞﾝﾄへの協力
結城西小協議体（くすのき会）	16 回	155 人	・小学校挨拶ｸﾘｰﾝ活動の実施 ・ｻﾛﾝ活動の実践 ・かわら版の作成・配布
山川小協議体（あやど会）	16 回	206 人	・ｻﾛﾝ活動の実践（小学校連携型） ・「お不動様ﾂｱｰ」の企画・実践
上山川小協議体（上山川助け合い協議体）	6 回 ※隔月１回	88 人	・小学校挨拶運動及び見守り活動の啓発支援 ・地域全体の見守り活動の推進 ・小学校との連携企画の協議
絹川小協議体（きぬがわ）	16 回	320 人	・ｻﾛﾝ活動の実践 ・特別支援学校との共同企画の実践 ・「買い物ﾂｱｰ」の企画・実践
城西小協議体（はっぴぃ城西）	14 回	190 人	・ｻﾛﾝ活動の実践（屋外型ｻﾛﾝも実施） ・小学校見守り活動の推進
江川南小協議体（えなん会）	13 回	172 人	・小学校との連携企画・実践 ・地域ｲﾍﾞﾝﾄへの協力

②支部社協の育成強化　【決算額：５２９，０００円】

「小地域」ごとに福祉の推進組織として設置した絹川・上山川・山川・江川の４支部がそれぞれ実施する地域の実情に沿った福祉活動を支援することで、支部社協の育成強化を図りました。

【支部総会の開催】

○　絹川支部　　４月25日（木）総会
○　江川支部　　５月10日（金）総会
○　上山川支部　　６月16日（日）総会
○　山川支部　　６月21日（金）総会及び視察研修

（４）福祉活動への支援

地域福祉に取り組んでいる関係機関や関係団体等を支援することにより、その活動推進や社協との連携強化が図られ、地域福祉活動の活性化に寄与しました。

①各団体への助成　【決算額：１，９２４，０００円】

民生委員児童委員協議会及び自治協力員連合会などの地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等に対し財政面での支援をすることにより、その活動推進と社協との連携が図れました。

【事業実績】

○　結城市自治協力員連合会　　400,000円（助成金）
○　結城市民生委員児童委員協議会　　475,000円（共募配分/福祉育成）
○　ボランティアサークル助成　　490,000円（助成金）（13ｻｰｸﾙ）
○　結城市老人クラブ連合会　　180,000円（共募配分/福祉育成）
○　結城市子ども会育成連合会　　266,000円（共募配分/福祉育成）
○　結城市遺族連合会　　66,000円（共募配分/福祉育成）
○　結城市心身障害児（者）父母の会　　47,000円（共募配分/福祉育成）

②各団体への支援（事務局）

地域福祉の推進の観点から社協で事務局を担当している団体の事務事業を円滑に遂行したことにより、地域福祉活動の充実を図りました。

ア）結城市老人クラブ連合会

○各種スポーツ大会

結城市老人クラブ連合会主催による各種スポーツ大会を開催し、高齢者の健康づくりや介護予防活動の推進を図りました。

【事業実績】

競技種目	開催日	場　所	参加人数
ﾍﾟﾀﾝｸ大会	令和６年５月30日（木）	鹿窪運動公園ゲートボール場	42人（13チーム）
ｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ大会			41人（8チーム）
輪投げ大会	令和６年６月20日（木）	鹿窪運動公園アリーナ	94人（21チーム）
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ大会	令和６年６月27日（木）	鹿窪運動公園野球場	27人

＊　第29回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会結城市老人クラブ連合会主催の各種スポーツ大会の優勝クラブ及び個人について、茨城県及び県社会福祉協議会が主催する大会への参加し、スポーツ及び健康増進への意欲向上と県域における相互交流を図りました。

ペタンクの部優勝　西の宮桐の実会　※ねんりんピック岐阜2025出場予定

○高齢者の生涯学習活動

第５２期老人大学を開校し各種講座や研修等を実施することにより、高齢者の教養の向上、生きがいづくり及び健康増進等を図り、明るく豊かな生活の創出に寄与しました。

【事業実績】

受講生　21人

終了証書授与者　18人（７回開催のうち、５回以上受講した者）

開　催　日	講義内容	講　　師
令和６年７月23日（火）	転ばないための身体づくりと環境講座	出前講座
８月29日（木）	睡眠と健康の知恵袋講座	出前講座
９月25日（水）	防犯講座	出前講座
10月31日（木）	ステップ教室	出前講座
10月21日（木）	外出研修　埼玉方面	
10月19日（木）	生活支援体制整備事業について	社会福祉協議会
令和７年１月23日（木）	市行政全般について	結城市長

○老人クラブ研修大会

単位老人クラブの主催により研修大会を開催し、健康づくり、自身を守るための知識習得及びクラブ員間の交流を図りました。

【事業実績】

開催地区	開　催　内　容
上山川地区	熱中症予防講座、アトラクション（舞踊）
江川地区	防犯教室

＊山川地区は、会場等の確保が困難であったため中止となりました。

○老人クラブ福祉大会

地区老人クラブの主催により福祉大会を開催し、趣味や教養の向上、文化活動及びクラブ員間の交流を図りました。

【事業実績】

開催地区	開　催　内　容
結城ブロック	創作美術展（３日間）、芸能発表会
山川地区	「知って得！安心①～なんでも相談所～」、地域包括支援センターとは、舞踊ショー

イ）結城市ボランティア連絡協議会

○各ボランティアサークルの理事が参加し、定期的に総会及び理事会を開催することにより、サークル間での情報交換及び会員の連携を図りました。

【事業実績】

会議開催回数　22回
内　　容　理事会、総会、会計監査、研修、イベント等について
研　修　日　令和６年10月10日（木）
研　修　先　埼玉県防災学習センター
研修日時　災害から自分の身を守るために、疑似的に地震、火災、台風を体験し、災害発生時の対処の仕方を学びました。
参　加　者　23人

【加入団体数】※令和７年３月31日現在

登録団体数	17サークル
登録人数	351人

○各種行事の開催

結城市ボランティア連絡協議会が主催する各行事について、その後援及び運営を支援したことにより、障害の有無にかかわらず、ボランティアや福祉関係者を含めた地域住民との交流が図れました。

【事業実績】

○障害者週間クリスマス会

開催日	１２月７日（土）午前10時
開催場所	石嶋建設ﾌﾟﾗﾈｯﾄﾎｰﾙ（結城市情報センター）３階　多目的ホール
参加人数	147人
内　　容	花笠作り、障害者団体のステージ発表等

○ふれあい福祉のつどい

開催日	９月７日（土）午前10時
開催場所	鹿窪総合体育館
参加人数	325人
内　　容	茨城県警音楽隊の演奏、ステージ発表、警察消防車両展示等

２　誰一人取り残さない支援体制づくり

困窮課題等に関する相談支援機能の強化や高齢者の法律的課題に対する相談支援の推進を図る相談支援機能の強化、地域における育児の相互援助活動の充実や高齢者等の日常生活の負担軽減を図る福祉サービス提供の体制づくり及び認知症や障害等の影響により判断能力が不十分な方の支援を図る権利擁護の推進などに取り組み、だれもが孤立することなく「安心・安全」を感じながら暮らせる支援体制づくりを推進しました。

（１）相談支援機能の強化

誰もが気軽に相談できる体制づくりを目指し相談対応の向上を図るとともに、生活困窮者自立支援事業や高齢者地域支援体制整備事業などを実施し、福祉に関する悩み事や心配事など様々な相談に対応することにより相談支援機能の強化を図りました。

①生活困窮者自立支援事業（結城市委託事業）　【決算額：７，２９９，５１５円】

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図ることを目的とした生活困窮者自立支援制度

の一部（自立相談支援）を結城市より受託。結城市福祉事務所社会福祉課内に相談窓口を設置し相談員１名を常駐させ、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者への包括的かつ継続的な支援を行いながら、自立の促進を図りました。

【事業実績】

新規相談	延べ相談	支援プラン	支援調整会議
70 件	580 件	12 件	21 件

②小口資金貸付事業　【決算額：１，２３３，０００円】

低所得世帯を対象に、短期無利子の貸付を行うことにより、一時的に生計の維持が困難になった場合における経済的自立及び生活意欲の向上を図りました。

【事業実績】

貸付種別	延べ相談	貸付件数	貸付金額
小口資金	36 件	32 件	1,233,000 円

③生活福祉資金貸付事業（茨城県社会福祉協議会委託事業）　【決算額：１７，３３０円】

茨城県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金の貸付業務の一部を受託し、低所得世帯障害者世帯及び高齢者世帯からの貸付及び償還に関する相談及び事務手続きを行うことにより、該当世帯の経済的自立等の促進を図りました。

④新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）特例貸付の償還フォローアップ支援事業　【決算額：６，３９２，２８０円】

生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）特例貸付の借受人の計画的な償還や償還免除及び償還猶予などの事務手続きに加え、償還が困難な借受人からの相談に対応するなど、適切なフォローアップと必要な支援を行ったことにより借受人の生活再建が図れました。

また、償還金滞納者に対して訪問調査等を実施しました。

【事業実績】

償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援	25 人 （電話、訪問、窓口対応、自立支援機関情報共有）
償還免除申請に未対応の借受人へのフォローアップ支援	39 人（申請書の記載援助、案内等）
償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援	951 人 （猶予相談、状況把握、自立支援機関情報共有）
その他フォローアップ支援	17 件 （氏名等変更届の郵送、口座振替依頼書の記入等）

⑤ふれあい総合相談　高齢者地域支援体制整備事業（市委託）【決算額：６６６，２３２円】

高齢者等が日常生活で抱える各種の問題に対し、相談窓口を設置し高齢者等の福祉の増進を図り必要な助言及び指導を行い、法律的助言が必要な案件に対して、弁護士による相談窓口を設置することにより、不安の解消や詐欺被害の防止を図りました。

【事業実績】

主な相談内容（債務、負債、離婚、医療、相続等）

相談種別	相談員	開催日数	相談件数
【専門相談】 毎月第２・４金曜日 午後１時30分～午後３時30分 社会福祉協議会相談室	弁護士 ４人	24日	57件
【毎日相談】 毎週月～金曜日 午前８時30分～午後５時15分 社会福祉協議会事務局	社会福祉 協議会職員	242日	59件
合　　計		266日	116件

（２）福祉サービス情報提供の促進

福祉サービスを必要とするすべての人が、自分に適したサービスを自ら選択し利用できるようにするため、結城市社協だよりの発行やホームページの運営等に取り組んだことにより、必要な人に必要な情報が届く、きめ細やかな福祉サービス情報の提供の促進が図れました。

＊　詳細な事業実績は、Ⅱ―１－（１）地域福祉意識・関心の向上に記載しております。

（３）福祉サービス提供の体制づくり

安心して子どもを産み健やかに育てることができる環境づくりの実現や高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる支援体制づくりに取り組むことにより、福祉サービス提供の体制づくりの推進が図れました。

①ファミリーサポートセンター事業（結城市委託事業）【決算額：２，１２７，６８６円】

市民の理解と協力により、子育て援助活動としてファミリーサポートセンター事業に取り組むことにより、安心して子どもを産み健やかに育てることが出来る環境づくりの実現が図れました。

【事業実績】

利用会員	267人
協力会員	51人
利用件数	384件
利用時間	633.5時間

②子ども食堂（ほぺたん食堂）の実施　【決算額：１３５，１３５円】

子どもとその家族及び地域住民に対して、関係機関との連携を図りながら毎月１回（第３金曜日）に開催したことにより、子どもの居場所づくり及びふれあいの機会の創出が図れました。

○主　催　いばらきコープ生活協同組合

○共　催　（福）結城市社会福祉協議会

○協　力　北つくば農業協同組合、社会医療法人達生堂、ARTISAN Patissier ITABASHI

○運営ボランティア　　ゆうき子ども食堂の会（会員数：10人）

【事業実績】

開催回数	11回
参加人数	502人（子ども249人・大人231人、幼児22人）
料　　金	大人300円、子ども100円（1食）、幼児【無料】

③児童遊具修繕・撤去助成事業　　【決算額：５５，０００円】

児童公園内に設置してある児童遊具について、修繕及び撤去申請に基づき助成金を交付することにより、幼児・児童等の健全な育成に寄与しました。

【事業実績】（1件の申請上限額10万円）

件　数	備　　考
1件	ブランコの撤去（水海道）

④児童公園・ゲートボール場整備事業　【決算額：５０９，５２０円】

児童公園、ゲートボール場及び集会施設等の地域住民が集まる場所にベンチ及び砂を配付することにより、地域福祉を推進するために必要な施設の環境整備が図れました。

【事業実績】

申請種別	件数	備　　考
ベンチ	9件	集会施設等 （下り松北部、下り松東部、下り松中部、見晴町、公達、七五三場、善長寺、矢畑、武井）
砂	2件	ゲートボール場（下り松北部、公達）

⑤有償在宅福祉サービスセンター事業　【決算額：７８４，７９３円】

住民の理解と協力により、日常生活を営むうえで支障のある世帯等に簡単な家事援助等を行うことにより、本人や家族が住み慣れた地域で安心して生活できるための支援の推進が図れました。

【事業実績】

利用会員	81人
協力会員	54人
派遣件数	724件
派遣時間	864.5時間

⑥ひとり暮らし高齢者安否確認ふれあい電話サービス　【決算額：４４，７０１円】

65歳以上で電話を設置しているひとり暮らしの高齢者を対象に、毎週月曜日及び木曜日に個人ボランティア「ふれあい電話」の協力により架電することにより、定期的な安否確認及び孤独感の解消等が図れました。

【事業実績】

実施回数	118回
対象者	47人
年間利用者数	457人

⑦ひとり暮らし高齢者安否確認友愛訪問サービス

65歳以上で電話未設置又は訪問による安否確認が必要なひとり暮らし高齢者を対象に、毎週水曜日に個人ボランティアの協力により訪問することで、定期的な安否確認及び孤独感解消等が図れました。

【事業実績】（在宅者）

訪問回数	22回
対象者	4人
年間延べ訪問数	45人

⑧りりぃプロジェクト（女性応援プロジェクト）

様々な理由で生理用品の購入が難しい方に、市内3か所で生理用品を無償で配布することにより、困難な状況下にある女性の支援に寄与しました。また、市内小・中学校・高校・特別支援学校の保健室でも受け取れるよう、養護教諭と連携を図りました。

【事業実績】

設置場所	配布個数
社会福祉協議会	16個
結城市役所子ども福祉課	23個
結城市情報センター	19個
学校関係	28個
合　計	86個

＊　介護保険事業及び障害福祉サービス事業については、法的サービス部門又は障害者福祉センター部門に記載しております。

（4）権利擁護の推進

判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を対象に、地域において自立した生活が送れるよう様々な相談や各種支援を行うことにより、対象者の権利擁護の推進が図れました。

①日常生活自立支援事業（茨城県社会福祉協議会委託事業）　【決算額：８５４，１７２円】

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等、日常生活において判断能力が不十分な方々を対象に、利用者との契約に基づき、金銭管理や福祉サービスの手続補助等のサポートを実施したことにより、利用者の権利擁護の推進を図りました。

【事業実績】

生活支援員	8人
年間利用者	13人
支援回数	83件（認知症高齢者等） 114件（知的障害者等） 9件（精神障害者等）

（5）その他

火災により家屋が全焼又は半焼した世帯、行路人及びひとり親世帯を支援することにより、地域福祉の推進を図りました。

①法外援護事業（火災見舞金）【決算額：３０，０００円】

【事業実績】　全焼　10,000 円×３件＝30,000 円

②行路人援護金　【決算額：８００円】

【事業実績】　200 円×４人＝800 円

③住民生活応援助成金　【決算額：２００，０００円】

いばらきコープ生活協同組合からの寄付金を原資に、茨城県社会福祉協議会が交付する助成金を活用し、児童扶養手当認定者を対象に長期保存のできるレトルトカレーを配布したことにより、ひとり親世帯の支援を図りました。

【事業実績】

○助成金額　200,000 円

○対 象 者　児童扶養手当認定者　500 人

３　住み慣れた地域で誰もが安心して生活できる地域づくり

地域におけるサロン活動の推進や多様な集いの場の開催支援を図る居場所づくり及び交流の場づくり、市民のニーズや流行などを考慮した各種趣味教養講座の開講や高齢者の余暇活動や交流の支援を図る生きがいづくり及び健康づくり及び防災意識の充実や地域防災の啓発と防災ボランティアの育成を図る災害時の対応の充実に取り組み、だれもが孤立することなく「安心・安全」を感じながら暮らせる地域づくりを推進しました。

（１）居場所づくり・交流の場づくり

高齢者等の地域の方々がふれあえる地域サロン等の開設及び運営を支援することにより、地域におけるサロン活動の推進を図りました。

①ふれあい生きいきサロン推進事業　【決算額：７０，０００円】

地域でサロン活動を行っている団体に対して支援を行うことにより、小地域コミュニティ形成の推進を図りました。

【実施団体】

本町いきいきサロン	各クラブ 10,000 円
仁軒地中高年クラブ	
地域カフェたまらん	
作の谷いきいきクラブ	
かみなりの会	
戸野町えびすクラブ	
どんぐりサロン	

（２）生きがい・健康づくり

高齢者のニーズ等を考慮した高齢者趣味教養講座の開講や余暇活動及び交流等を促進する健康農園の運営などにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりの促進が図れました。

①高齢者生きがい健康づくり推進事業（高齢者趣味教養講座）　【決算額：３７９，８７７円】

ニーズ等を考慮した高齢者趣味教養講座を開催することにより、高齢者の生きがいを促進し、閉じこもりがちな高齢者の社会的孤立感の解消及び自立支援の助長を図りました。

【事業実績】

講　座　名	開　催　日　時	実施回数	実人数	延人数
健康寿命を延ばす運動	令和６年　５月　13日　～ ７月　22日	10	16	120
将棋	５月　14日　～ 10月　22日	10	18	149
太極拳	５月　16日　～ ７月　25日	10	15	131
ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ①	７月　４日　～ ７月　25日	4	12	42
ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ②	令和７年　２月　６日　～ ２月　27日	4	10	40
健康麻雀	８月　１日　～ 10月　10日	10	12	110
ｽｸｴｱｽﾃｯﾌﾟ体操①	８月　20日　～ ９月　17日	5	19	87
ｽｸｴｱｽﾃｯﾌﾟ体操②	令和７年　２月　４日　～ ３月　11日	5	14	63
ｼﾆｱのための初めてのﾋﾟｱﾉ	９月　12日　～ 12月　26日	8	8	63
初めてのﾎﾞｲｽﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	９月　30日　～ 12月　23日	10	15	140
合　計		76	139	945

②健康農園運営事業　【決算額：２，０７９，０９４円】

高齢者が余暇を利用し野菜等を栽培できる健康農園を運営することにより、高齢者の生きがいづくりや健康の維持増進を図りました。

なお、四ッ京11755番地の健康農園は、地権者の希望により８月で賃貸借契約を終了し返還することとなったことから、利用は６月で終了し、その後、返還のための現状復旧工事を実施しました。

【事業実績】（１人あたり約40㎡）

所　在	面　積	区画数	利用者数	備　考
四ッ京11755番地	1,302㎡	30	22人	賃貸借契約 ６月で運営終了
四ッ京11771番地	976㎡	18	18人	使用貸借契約

③敬老の日記念品贈呈事業　【８０８，５１５円】

高齢者を敬うとともに、その長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するため、民生委員・児童委員の協力を得て記念品を贈呈することにより、市民の高齢者福祉に対する関心の向上と理解の深化を図りました。

なお、百歳祝いについては、結城市と連携し実施しました。

【事業実績】

卒　寿	201 人 （スプーン・フォークセット）	昭和９年４月１日から 昭和 10 年３月 31 日生まれ
金婚式	173 組（夫婦箸）	昭和 49 年４月１日から 昭和 50 年３月 31 日婚姻
百　歳	14 人（祝金）	大正 13 年４月１日から 大正 14 年３月 31 日生まれ

④高齢者マイクロバス運行事業　【決算額：９１９，２５２円】

単位老人クラブ並びにボランティアサークル等が実施する視察研修等などの活動に必要なマイクロバスを運行することにより、関係機関及び関係団体の活動支援を図りました。

【事業実績】

・利用件数　　47 件
・利用人数　 776 人

⑤福祉備品貸出事業

レクリエーション用具（輪投げ、ボーリング、ディスゲッター等）を市内の自治会、幼稚園、高齢者施設が企画する行事等に貸し出すことにより、健康づくりや地域交流の促進を図りました。

また、車椅子が急遽必要となった方に貸し出すことにより、地域福祉の推進を図りました。

【事業実績】　　57 件（うち、車椅子 17 件）

（３）災害時の対応の充実

市民の防災意識の向上や災害時に支え合える地域づくりなどに取り組み、災害時における対応の充実を図りました。

①災害・防災関連の研修

生活支援体制整備事業第 2 層協議体交流会で開催した講習会「じぶんの防災ちいきの防災」に多くの市民と社協職員が参加したことにより、市民及び社協職員の地域防災並びに災害支援に対する資質の向上が図れました。

【事業実績】

○第２層協議体交流会　「じぶんの防災ちいきの防災」（※再掲）

日　　時　令和７年１月 27 日（月）午後１時 30 分から午後３時 30 分
場　　所　結城市役所　大会議室
講　　師　赤プル氏

Ⅲ　法的サービス部門

1　介護保険事業　【決算額：７，６５６，０７５円】

介護保険法に基づき、介護保険指定サービス事業所として利用者本位のサービス提供と質の向上に努めることにより、高齢者が住み慣れた地域で日常生活を営むために必要な介護保険サービス事業の推進を図りました。

（１）訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の身体介護及び、日常生活上の支援・掃除・洗濯の生活援助等により、利用者が自立した生活を送れるよう支援しました。

【事業実績】

○介護

実利用者数	９人
サービス提供件数	1,017 件
（内訳）身体介護	284 件
身体・生活	229 件
生 活 援 助	504 件

○介護予防（生活援助）

実利用者数	15 人
サービス提供件数	1,188 件

○訪問型サービスＡ

実利用者数	４人
サービス提供件数	205 件

2　障害福祉サービス事業　【８，２４８，９６０円】

障害者総合支援法に基づき、障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、指定サービス事業所として利用者本位のサービス提供と質の向上に努めることにより、障害者が自立した日常生活や社会生活を送るために必要な障害福祉サービス事業の推進を図りました。

（１）居宅介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問して、障害者に入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助や通院等外出時における移動中の介護などにより、利用者の自立した日常生活の確保を図りました。

【事業実績】

実利用者数	36 人
サービス提供件数	2,314 件

（２）同行援護事業

視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害者の外出に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護を行うことにより、利用者の外出支援と安全確保を図りました。

【事業実績】

実利用者数	６人
サービス提供件数	134 件

（３）障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者が外出する際に、ヘルパーが付き添い、移動中や目的地において移動の介護、排泄、食事の介助、危険を回避するための支援により、地域における自立生活及び社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

実利用者	7人
サービス提供件数	181件

Ⅳ　障害者福祉センター部門

1　障害者福祉センターの運営管理（市指定管理委託）【決算額：１５，０８６，７３５円】

結城市より令和６年度から10年度までの５年間の指定管理を受け、障害者福祉における拠点施設としての役割を目指し、各種の障害福祉サービス、福祉関係団体、ボランティア、地域住民の理解と人材育成促進のため事業を展開するとともに、障害者福祉センターの効率的な管理運営を図りました。

また、地域の方々と利用者等の参加による地域交流イベントの開催や、誰もが気軽に利用できる集いのスペースを設置することにより、障害者への理解を深めるとともに、地域に親しまれる施設の実現を図りました。

（１）障害者福祉センター利用状況

市内に居住している障害者及び家族、障害者団体等への貸出利用を行うことにより、福祉活動及び地域活動の促進を図りました。

【事業実績】

利用区分／部屋名	市民への貸出		センターで利用		部屋別合計		部屋別月平均	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
機能回復訓練室	19	199	243	3,430	262	3,629	21.8	302.4
作業訓練室	0	0	242	722	242	722	20.2	60.2
ホール	1	4	1	4	2	8	0.2	0.7
食堂	3	20	239	1,585	242	1,605	20.2	133.8
調理室	0	0	12	65	12	65	1	5.4
利用区分別合計	23	223	737	5,806	760	6,029	63.3	502.4
利用区分別月平均	1.9	18.6	61.4	483.8	63.3	502.4	—	—

（２）地域等交流会

地域の方々、利用者及び保護者の参加により、手話を交えたミニコンサートや施設見学などによる交流会を開催したことにより、障害者の理解促進や地域に親しまれる身近な障害福祉センターの実現に寄与しました。

【事業実績】障害者福祉センター地域等交流会

開 催 日	令和６年11月３日（日）
開催内容	手話を交えたミニコンサート ＡＥＤ講習会（消防署職員による講習） 施設見学
参加人数	地域参加者（センター近隣地区）　30人 利用者及び保護者　14人 ボランティア等（消防職員含む）　7人 その他来賓等　9人 合　計　60人

（３）施設の維持管理

施設及び設備等の保守、点検、修繕及び清掃等により適切な維持管理に努めることにより、施設の機能維持及び安全性の確保に努めました。

【事業実績】

①自主点検

ア）毎日点検　　水質確認、避難通路等の物品点検、電気器具の配線等点検
火気設備の点検、倉庫等の施錠確認、終業時の火気確認

イ）毎月点検　　受水槽点検、避難誘導灯

ウ）３か月毎点検　空調設備点検、ガス供給設備点検、排煙窓点検

②専門業務委託

警備委託、消防設備保守点検委託、浄化槽維持管理委託、電気工作物保守委託
自動ドア保守点検委託、受水槽清掃委託、センター内清掃委託

2　多機能型事業所事業　【決算額：４１，２３８，１１８円】

令和元年度（平成31年度）より、従来の「地域活動支援センター事業」から茨城県の指定を受け「就労継続支援Ｂ型事業」及び「生活介護事業」を提供する多機能型事業所に移行して運営しており、利用者である市内、小山市及び筑西市の一部地域の在宅身体障害者、知的障害者及び精神障害者を対象に、作業訓練や日常における基本動作の指導、集団生活への適応訓練、創作的活動、レクリエーション等の事業を実施することにより、利用者の社会的自立と社会参加の促進を図りました。

（１）事業所利用者の現状

区　　分	就労継続支援Ｂ型事業	生活介護事業	合　　計
利用者数	11人	７人	18人
延べ利用者数	2,517人	722人	3,239人
日平均利用者数	10.3人	2.9人	13.3人
重複障害者	２人 療育Ａ：身体２級 療育Ｂ：身体４級	２人 療育Ａ：身体６級 療育Ａ：内部１級	４人
知的障害者	８人 療育Ⓐ　１人 療育Ａ　４人 療育Ｂ　３人	５人 療育Ⓐ　２人 療育Ａ　１人 療育Ｂ　１人 療育Ｃ　１人	13人
精神障害者	１人（精神障害２級）	―	１人
平均年齢	47歳 最高66歳、最小31歳	36歳 最高63歳、最小20歳	43歳
通所方法	保護者等送迎　２人 自転車　３人 徒歩　１人 センター送迎　５人	保護者等送迎　４人 センター送迎　３人	保護者等送迎６人 自転車　３人 徒歩　１人 センター送迎８人
年間開所日数	243日		
利用時間	午前９時～午後４時		

（２）障害者就労継続支援事業（Ｂ型）　【決算額：２４，２７６，６９３円】

通常の事業所で雇用契約に基づく就労が困難である障害者を対象に、働くために必要な知識や能力向上のための訓練を行うとともに生産活動の場やレクリエーション及び交流の機会を提供することにより、利用者の就労に必要な知識や技術の向上、生きがいや喜びの

享受、友人や支援者との対人関係の構築及び地域社会への参加促進など、利用者の自立支援と日常生活の充実を図りました。

①花づくり事業、草木染事業

花づくり事業や草木染事業は、利用者が土づくり作業から育苗、出荷まで計画的な就労訓練を実施することにより、就労に必要な知識及び能力の向上並びに心身の健康増進を図りました。

【事業実績】

ア）主な訓練内容

○花づくり事業（サルビア等）　土づくり作業→播種→育苗→移植→追肥→出荷

○草木染事業（藍染ストール等）　播種→移植→収穫→採種→手染め作業→販売

イ）販売実績

○花卉販売

区分	種　類	本	販売額（円）
前期	サルビア	6,038	362,280
	マリーゴールド	13,490	1,079,200
	ゴーヤ	10	1,000
後期	パンジー	16,918	1,347,440
	ビオラ	9,792	777,060
合計	—	46,248	3,566,980

○草木染販売（結城市ふるさと納税返礼品に登録）

	区　分		数　量	金　額	備　考
製品名	規格	単価（円）	（枚）	（円）	
藍染ストール	小	1,500	1	1,500	
	大	3,000	11	33,000	藍染体験時材料
	中	3,300	18	59,400	
	大	4,200	1	4,200	ふるさと納税
	大	4,400	38	167,200	
ハンカチ	—	1,000	11	11,000	
合　計	—	—	80	276,300	

②受託加工事業

花づくり事業や草木染事業に加え、受託加工事業として履歴書封入作業を受託することにより、利用者の多様な訓練による知識や能力の向上が図れました。

【事業実績】

○受託加工収入（履歴書封入作業）

区　分	単価（円/袋）	数量（袋）	金額（円）消費税含む
受託作業その１	2.2	6,918	16,729
受託作業その２	2.5	6,922	19,021
合　計	—	13,840	35,750

＊受託作業その１とその２では、作業の内容が異なります。

③機能回復訓練・余暇活動

毎月３回開催される手話教室（指文字）に参加することにより、身体の機能訓練、支援者との交流によるコミュニケーション能力の向上及び気分転換による心身の健康の保持増進などが図れました。

【事業実績】

ア）毎月３回、初級の手話教室（指文字）に参加しました。

イ）９月７日に開催した「ふれあい福祉のつどい」及び１２月７日に開催した「障がい者週間クリスマス会」において、手話の歌を披露しました。

（３）障害者生活介護事業　【決算額：１６，９６１，４２５円】

安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方を対象に、食事や排泄等の介護及び創作的活動や生産活動の機会の提供その他必要な援助を行うことにより、利用者の心身の健康保持増進、主体的な生活と自己実現の促進を図りました。

また、令和７年度から入浴サービスを開始するため、施設修繕及び設備整備を行いました。

①日常生活における基本動作の指導及び集団生活への適応支援

集団生活に適応するため、ボール回しや輪投げ等の遊びを通して挨拶やルールなど、利用者に応じた支援を実施することにより、日常生活における基本動作及び集団生活への適応力の向上を図りました。

②日常生活動作・歩行支援等の各種機能訓練

「ご飯を食べる」、「トイレに行く」等の生活するうえで必要な動作の支援、施設周辺の散歩や平行棒を使用した歩行支援並びに塗り絵、ちぎり絵及び折り紙等の創作活動など、利用者の特性に応じた支援に努めました。

③入浴サービス実施のための整備

利用者の心身の健康保持増進などの効果が期待できるとともに、生活介護事業に必要となる入浴サービスを実施するため、浴槽の購入及び給湯器の設置など浴室を改修し、令和７年度からのサービス開始に向けた環境整備を図りました。

【事業実績】

ア）浴室改修工事（現浴室の分割工事）

イ）給湯器設置工事（給湯器１台設置及び配管工事

ウ）入浴サービス用浴槽の購入（障害者用シャワー付き浴槽の購入）

（４）障害者就労継続支援事業及び障害者生活介護事業における共通実施事業

①レクリエーション・余暇活動

身体機能や脳の機能を活性化させコミュニケーション能力や社会活動を高めるため、就労継続支援Ｂ型と生活介護の利用者を対象に、七夕飾りやハロウィンイベントなどの季節の行事やレクリエーションを実施しました。

就労継続支援では就労サービスの一環として位置づけ、利用者の楽しみとなるレクリエーション等を行うことによりストレス解消を図りました。また、生活介護の利用者には、日々の生活が楽しくなるよう教養娯楽活動と位置づけ生活の質の向上に努めました。

【事業実績】　⑦【月別主要実績】を参照してください。

②個別支援の充実

利用者の生活の充実や社会参加を目指し、一人ひとりの能力や特性に合った支援を行うための個別支援計画を作成しました。計画には、利用者の特性や課題、希望を反映し具体的な目標や支援内容を記載しています。

この計画をもとに、利用者の目標達成に向け支援し充実した生活が送れるよう努めました。また、令和６年度からは、リハビリテーションの専門家から利用者の個々の能力や特性についてアセスメントや支援対応の助言を受け、一人ひとりにあった支援に努めることができました。

③リハビリテーション

就労継続支援Ｂ型の利用者について、リハビリテーションの専門家から指導を受け就労訓練・作業を実施したことにより、就労に必要な技能の維持・向上が図れました。

また、リハビリテーションの専門家から生活介護の利用者へ、創作活動や生産活動の支援を受け生活の質の向上に努めました。

【事業実績】

リハビリ専門職からの指導　14回

④相談支援

就労継続支援Ｂ型利用者及び生活介護の利用者に対し、日常生活や地域生活に関する相談支援を行いました。また、利用者の家族等から就労に関する相談や利用者の健康管理など各種相談に応じるとともに、悩みを共有することにより不安等の解消に努めました。

【事業実績】

相談内容

ア）医療・福祉相談　２件

イ）就労相談　　１件

⑤利用者確保に向けて

栃木県立栃木特別支援学校、茨城県立結城特別支援学校、下妻特別支援学校、市内相談支援事業所１か所、グループホーム２か所、筑西市内相談支援事業所１か所、小山市相談事業所及びＡ型事業所各１か所、小山市障がい児者基幹相談支援センター２か所、古河総合病院（高次脳機能障害支援センター）に訪問し事業案内を行いました。

また、今後の利用者獲得に向け小山市社会福祉協議会相談支援事業所さくら並びに栃木特別支援学校及び国分寺特別支援学校との協議の場を設け、日中活動支援の受入れ先、現場実習先として連携を図りました。

さらに、新規利用者を増やすため結城特別支援学校と情報提供を兼ねた打合せ、結城特別支援学校及び栃木特別支援学校主催福祉説明会への参加協力を行うとともに、事業対象地域を結城市全域、小山市、筑西市の一部とし、地域の相談支援事業所への事業啓発活動、グループホームとの連携（グループホームの日中活動支援のひとつとして当就労継続支援Ｂ型事業との連携）を視野に入れた活動を展開しました。

⑥実習生・見学者の受入れ

実習生　９人（結城特別支援学校高等部２年生）　（栃木特別支援学校高等部３年生）

２人（国際医療福祉大学）（文教大学）

見学者　６人（個人５人、結城特別支援学校高等部１年生１人）

⑦【月別主要実績】

月	主　要　事　業　名	場　所	備　　考
4月	・サルビア・マリーゴルード植替え（15～19日の5日間） ・藍の植替え（23日）	センター センター	
5月	・心身障害児者父母の会総会（16日） ・藍の種まき（24日）	センター センター	
6月	・農業体験(いちご狩り)（7日） ・多機能型事業所利用者医療相談（27日） ・収穫祭（22日）	小山市築 センター センター	吉田農園でいちご狩りを体験しました。
7月	・七夕飾り（5日） ・結城市障害者福祉センター運営委員会（8日） ・民生委員児童委員視察（23日） ・お楽しみ会(カレー作り)（25日）	センター センター センター センター	短冊に願い事を書き、笹竹に飾り付けし、枝を切って自宅に持って帰りました。 利用者全員で収穫した野菜を使いカレー作りを実施しました。
8月	・サマースクール2024ニュースポーツ交流会（7日） ・パンジー及びビオラ種まき（6日、19日～21日） ・藍染体験（サマースクール・一般）（23日） ・防災訓練（自主訓練）（28日）	かなくぼ体育館 センター センター センター	手話講座生・聴覚障害者ボランティアと交流しました。
9月	・下野市社協視察（3日） ・ふれあい福祉のつどい（7日） ・パンジー及びビオラ植替え（9～10日、24日～27日） ・障害者福祉ｾﾝﾀｰ交流会(父母の会)（29日）	センター かなくぼ体育館 センター センター	
10月	・ハロウィンイベント（31日）	センター	
11月	・センター地域交流会（3日） ・父母の会日帰り研修の参加（10日） ・多機能型事業所利用者医療相談（21日）	センター 千葉方面 センター	
12月	・障がい者週間クリスマス会（7日） ・クリスマス会（25日） ・買い物体験　・ランチ（25日）	情報センター センター 小山方面	ボランティアサークルたけのこの協力のもと、利用者が参加し手話で歌を披露しました。 みんなで出かけ一年の仕事納めを楽しみました。
1月	・仕事始め（1年の目標）（6日） ・節分イベント（31日）	センター内 センター内	

2月	・総合訓練　（12日） ・市内お雛様観賞　（28日）	センター 市内	消防署職員の指導のもと利用者及び施設一般利用者も一緒に消火訓練を実施しました。
3月	・地域交流（そば打ち体験）　（14日） ・サルビア及びマリーゴールド種まき （18日～19日）	センター センター	地域の方に協力をいただきそば打ち体験を実施しました。
その他	・お誕生会　随時 ・手話教室（第1～第3金曜日） 毎月3回 ・クリーン作戦　随時		

3　計画相談支援事業　【決算額：4，877，384円】

指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所を開設し、障害者（児）が抱える課題の解決や障害福祉サービス及び障害児通所支援などが迅速かつ適切に利用できるよう，関係機関や団体との緊密な連携を図りました。また、障害者の意向、適正、障害の特性その他の事情に応じ、常に障害者の立場に立った効果的なケアマネジメントをすることにより、障害者（児）が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むよう支援しました。

（1）指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

障害者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者等との連絡調整を図り、障害福祉サービス等利用計画書又は障害児支援利用計画書を作成しサービス利用を支援しました。さらに、サービス利用支給決定後にモニタリングし、必要に応じてサービス等利用計画を見直し、継続サービスの迅速かつ適切な利用支援を図りました。

①利用者数　（人）

区　分	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害障	26	0	16	26	0	0	0
障害児	0	0	18	0	42	0	0
計	26	0	34	26	42	0	0

②支援内容　（件）

区　分	サービス等利用計画	継続サービス利用支援
障害者	25	43
障害児	17	43
計	42	86

（2）障害者相談支援事業

障害者等の福祉に関する各般の問題について、障害者等、保護者及び介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言など必要な支援を行うことにより、障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援しました。

①相談支援を利用している障害者等の人数（人）

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	8	0	36	31	0	0	6
障害児	0	0	2	0	8	0	0
計	8	0	38	31	8	0	6

②支援方法（件）

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
19	6	15	24	1	6	42	7	120

③支援内容（件）

福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
35	2	25	2	7	7	13	0

就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
4	0	7	11	114

（3）関係機関・団体との連携

開　催　日	内　　容
令和６年　５月 15 日	結城市相談支援事業所連絡会
令和６年　６月 26 日	結城市地域自立支援協議会　就労部会
令和６年　７月 18 日	結城市地域自立支援協議会　就労部会
令和６年　８月 28 日	結城市地域自立支援協議会　就労部会
令和６年　８月 29 日	結城市相談支援事業所連絡会
令和６年 10 月　３日	結城市地域自立支援協議会　就労部会
令和６年 12 月 10 日	令和６年度　障害者なんでも相談会
令和６年 12 月 19 日	結城市相談支援事業所連絡会

4　地域生活支援事業（結城市委託事業）　【決算額：１，３０３，６６９円】

障害者（児）がその有する能力や適性に応じて、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ柔軟な事業形態による事業を計画的、効率的及び効果的に実施し、障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず誰もが相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与しました。

（1）障害者社会参加促進事業

ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり）の理想の実現に向けて、地域の特性や障害者の需要に応じた事業を実施することにより、その自立と社会参加の促進を図りました。

① 奉仕員養成講座

手話又は朗読に必要な技術等を習得した奉仕員を養成することにより、障害者の社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

ア）手話講座

講座名	開催日	開催回数	実人数	延べ人数
入門	毎週水曜日	48回	10人	271人
中級・上級	毎週水曜日	48回	12人	478人
夜間	毎月 第1・第3火曜日	24回	12人	181人
合計		120回	34人	930人

イ）朗読講座

講座名	開催日	開催回数	実人数	延べ人数
入門	毎月 第2金曜日	11回	15人	124人
中級	毎月 第4金曜日	12回	11人	100人
合計		23回	26人	224人

②点字・声の広報等発行

視覚障害者に対し、地域生活を営むうえで必要な情報を提供することにより、視覚障害者の社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

ア）点字点訳サービス

市役所社会福祉課	1回
社会福祉協議会音訳サービス郵送用宛名	1回

イ）朗読サービス

広報結城	12回
広報結城お知らせ版	24回
市議会だより	5回
社協だより「笑顔」	4回
アクロスだより	1回
ゆうきの文化	1回
市政70周年記念広報誌	1回

③聴覚障害者交流窓口

聴覚障害者交流窓口を障害者福祉センター内に設置し、聴覚障害者（児）及び保護者からの相談に応じるとともに、必要な情報の提供等を行うことにより聴覚障害者の社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

毎週水曜日	48回（年）

④レクリエーション活動等支援

県立結城特別支援学校及び関係団体等との共催並びにボランティア団体等の協力により、障害者、保護者及び地域住民との交流、余暇活動、スポーツ活動等を行うことにより、障害者の社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

ア）ニュースポーツ交流会

開催日時	８月７日（水）　午前10時
場　所	かなくぼ体育館
参加人数	42人（サマースクルール参加者を含む）

イ）ゆうゆうカーニバル

開催日時	11月16日（土）　午前10時
場　所	県立結城特別支援学校
参加人数	123人

⑤芸術文化活動振興

結城市教育研究会特別支援教育研究部及び県立結城特別支援学校が実施する「手をつなぐ作品展」において全出展者に記念品を贈呈したことにより、障害者の芸術文化活動を振興及び社会参加の促進を図りました。

【事業実績】

記念品	ワンポイントサコッシュ
	500円×365個＝182,500円